

No	日付	指摘区分	場所区分 (表、図、 例、本文、そ のほか)	段落番号または図表例の番号) ページ番号は書かない。図表で 番号がない場合には表題	指摘場所や文な ど(場所がわか ればよい程度)	指摘内容、コメント、質問。修正の場合には修正前の何を何に修 正すべきかが明確にわかるように記載。体裁、フォント、サイズ の変更などもここに記入。	修正方針
96	2021/10/25	内容	本文	1.前提とする電子処方箋の運用 例	図1	紙処方箋運用では、患者は処方箋を持参薬局に提出する。これは 本仕様でいう処方箋の文書ID（処方箋識別子）を患者が薬局の受 付で指定することに相当する。これは図示されていない。このよ うな長い歴史のある運用は電子処方箋の円滑な導入と普及のため 必要で、この運用も想定すべきである。	図1は審議用差し替え版では削除されている。
97	2021/10/25	内容	本文	4. 参照する仕様等	2行目	FHIR 4.0.xはTrial Use Developmentsを含むとされているので、 これが仕様に影響するか否かの記述が必要と思われる。	1. 本文書の位置づけ のなかに変更の影響を受けないことを記載した（審議用差し替え 版）。
98	2021/10/25	内容	本文	6.1. 全体構造	図2	①は処方箋の有効期限情報であり、FHIRのCompositionに対応 つけるべきではない。処方箋交付日に、 MedicationStatement.dateAssertedが対応付可能と思われれ る。Compositionは①から⑨までのすべてを含むべきである。こ れにより、Compositionは「いわば構成リソースの一覧目次のよ うな役割を果たす」と仕様書に記載の通りになる。	Composition.event.period の説明としてHL7FHIRでは「The period covered by the documentation」とあるため、文書とし ての有効期間を記述したことは適切であると考えている。本仕様 では処方依頼文書データを対象としており、医薬品情報は MedicationRequestだけで表現できMedicationStatementを使う 必要がないこと、MedicationStatementは1医薬品ごとに1記述 となるため、文書全体の有効期間をMedicationStatementに記述 したよりも、Composition.event.periodで記述しておきたい。な お、Compositionは①から⑨までのすべてを含むべきであるとい うご指摘はその通りであるが、Compositionそのものに内容が含 まれるわけではなく各リソースへの参照だけが含まれるので、内容 を保持したリソースの対応を記述したこの図としては現状のまま としたい。
70	2021/10/15	内容	本文	6.3. 文書構成情報	例	Code Systemと記述されているが、処方箋番号（処方箋ID）は コードシステムではないので「System」とすべきではないか	IdentifierのURIはCodeSystem部分をIdSystem に変更した。

No	日付	指摘区分	場所区分 (表、図、 例、本文、そ のほか)	段落番号または図表例の番号) ページ番号は書かない。図表で 番号がない場合には表題	指摘場所や文な ど(場所がわか ればよい程度)	指摘内容、コメント、質問。修正の場合には修正前の何を何に修 正すべきかが明確にわかるように記載。体裁、フォント、サイズ の変更などもここに記入。	修正方針
99	2021/10/25	内容	本文	6.3. 文書構成情報	Composit ionリソー ス	「Component.identifier 要素には、発行された処方箋データを 一意に識別する ID (処方箋番号) を設定する。処方箋IDの採番 ルールは本文書のスコープ外であるが、案としては次のような方 法が考えられる。」と記述されているが、使用する案を指定して いるので、もっとはっきり書いて良いのではないのでしょうか。	既に対応済
100	2021/10/25	内容	本文	6.4. 患者情報	-	任意情報とはいえ、患者を一意に識別するため、医療機関におけ る患者番号とセットで、医療機関を識別する情報 (医療機関名と 医療機関番号) を入れた方が良いのでは？	表3Patientリソースにおいて、Patient.identifier.assignerを任意 で記述できるよう変更した。Patient.identifier.systemが、医療 機関番号情報を含むOIDとなっているためこれによっても医療機 関を同定可能であること、また通常は処方発行医療機関の患者番 号を記述したことになり、処方発行医療機関の情報は別途記述さ れているため、Patient.identifier.assignerは任意としておきた い。
101	2021/10/25	内容	本文	6.5. 受診時状況情報	3行目	「通常省略できる」と記述されているが、必須にする方がよい。 処方箋は医師の診察に基づいて発行されるのが基本であり、どの 受診 (Encounter) で発行されたかの情報は処方箋の真正性を担 保する重要な情報である。	以下のように記述を変更した。「本リソースは公文書として発行 される処方箋では必須ではないため省略できる仕様として いるが、医療機関内での処方箋データの管理や、処方箋データを患者 や他の医療機関とやり取りした上では、通常必須として記述した ことを推奨した。」
102	2021/10/25	内容	本文	6.6.3. 費用負担者 (保険者等) 情報	2行目	「1: 医保」「2: 国保」の名称は、医療現場ではなじみが薄い。社 保 (社会保険制度)、国保 (国民健康保険制度) と略すことが現 場では普通である。それぞれ、社会保険制度、国民健康保険制度 のように、正式名称とする方が、まぎれが少ない。	厚労省の既存仕様およびそのコード表 (電子処方箋CDA記述仕 様第1版H30.7の別表11) に規定されたコードと名称なので、こ のままをしたい。
103	2021/10/25	内容	本文	6.7.2. 処方診療科情報	2行目	「処方診療科情報を出力しない場合には不要」と記述されてい るが、処方箋情報の利用を考慮すると、複数の診療科を含む医療機 関では必須とすべきと思われる。診療科別処方箋統計が必要とさ れる可能性を感じる。	以下のように記述を変更した。「診療科情報は公文書として発行 される処方箋では必須ではないため省略できる仕様として いるが、医療機関内での処方箋データの管理や、処方箋データを患者 や他の医療機関とやり取りした上では、通常必須として記述した ことを推奨した。」
71	2021/10/15	内容	本文	6.8.1. 処方医役割情報	3行目	処方医役割情報は、Practitionerリソースに記述した方がよいの ではないか	PractitionerRole.identifierには処方箋作成役割コードを設定し、 個人識別情報はPractitioner.identifierへ、個人の資格情報はすべ てPractitioner.qualificationへ移動した。

No	日付	指摘区分	場所区分 (表、図、 例、本文、そ のほか)	段落番号または図表例の番号) ページ番号は書かない。図表で 番号がない場合には表題	指摘場所や文な ど(場所がわか ればよい程度)	指摘内容、コメント、質問。修正の場合には修正前の何を何に修 正すべきかが明確にわかるように記載。体裁、フォント、サイズ の変更などもここに記入。	修正方針
104	2021/10/25	内容	本文	6.8.1. 処方医役割情報	3行目	PractitionerRoleでなく、個人を識別しており、Practitionerに入れ るべき値である。 PractitionerRole.identifierは、"Business Identifiers that are specific to a role/location"であり、医師個人の識別子ではな い。	同上
107	2021/10/28	内容	本文	6.8.1. 処方医役割情報	3行目	医籍登録番号は、Practitioner (医療従事者) が所有する qualification (資格) ですので、Practitionerに入れるのが適切 と考えます。	同上
105	2021/10/25	内容	本文	6.9.2. 剤グループ構造とその番 号	2番目の 節	RP番号は、MedicationRequest.groupIdentifierに対応させる方 法がFHIRの想定により忠実であると思います。FHIR 4.0.1の定 義は、"A shared identifier common to all requests that were authorized more or less simultaneously by a single author, representing the identifier of the requisition or prescription." グループ内の順番は、仕様書の通り、 MedicationRequest.identifierですが、Rp番号が変わるたびに1 から始まる様にしないのが得策と思います。	MedicationRequest.groupIdentifierは同時に発行された複数の処 方箋をグループ化したIDとしての使用を検討したいと考えている ため、現時点では現行仕様としておきたい。また、Rp番号の振 り方については各医療機関のシステムによる運用にまかせたい。
106	2021/10/25	内容	本文	6.9.2. 剤グループ構造とその番 号	3番目の 節	「複数のMedicationRequestリソースがひとつの剤グループの番 号に所属する場合、・・・要求される」はわかりにくい表現で す。「Rp番号」という言葉が図にも本文にもあるので、これ を使って記載したらどうでしょうか。 例：上記の太文字部分は以下の二行で理解できると思われます。 同じRp番号を持つ、複数の MedicationRequest リソースに共通 の用法指示は、これらの各MedicationRequest リソースで繰り 返し記述する。 なお、同じ用法であることは剤グループ分けの規則であるので、 "共通の"の語句は不要かもしれない。	意見を参考に修正した。
73	2021/10/15	内容	本文	6.9.3.2. 内服薬 1) 用法	10行目	基本用法区分は、JP Coreの注射との整合性のため、methodでは なく、routeにしていきたい	methodはJAMI基本用法区分1桁、またはそれに加えてJAMI詳細 用法区分を追加した2桁のどちらかを選択できるものとし、roure はHL7コード表0612を採用したことに変更。

No	日付	指摘区分	場所区分 (表、図、 例、本文、そ のほか)	段落番号または図表例の番号) ページ番号は書かない。図表で 番号がない場合には表題	指摘場所や文な ど(場所がわか ればよい程度)	指摘内容、コメント、質問。修正の場合には修正前の何を何に修 正すべきかが明確にわかるように記載。体裁、フォント、サイズ の変更などもここに記入。	修正方針
74	2021/10/15	内容	本文	6.9.3.2. 内服薬 1) 用法	13行目	用法詳細区分は、JP Coreの注射との整合性のため、routeではな く、methodにしていきたい また、サンプルに合わせて、基本用法区分と組み合わせた2桁で 記載するとの記述が必要ではないか	同上。
76	2021/10/15	内容	本文	6.9.3.2. 内服薬 3) 投与日数	5行目	実投与日数は、MedicationRequest直下ではないか？	dosageInstrucionの配下にあるほうが、ひとつのDosageリソー ス内で期間日数と実投与日数を対照させることができ便利。実 投与日数だけMedicationRequestの配下にあると、 MedicationRequestとDosageリソースの2つのリソースイン スタンスを使わないと両者を対照できない。 MedicationRequest.dosageInstrucion.timing.repeatの下に配置 した。
77	2021/10/15	内容	本文	6.9.3.2. 内服薬 3) 投与日数	記述例	extensionの方がdosageInstructionより先に来るべき	同上。
95	2021/10/22	内容	本文	6.9.7. 交互、漸増、漸減用法	-	ワーファリンの交互投与（3.5と4.0の隔日投与）等に対応できる か確認する。また、具体的な事例の記載があった方がよい。	開始日が1日ずれて、投与量の異なる2つの隔日投与の記述例を2 つ並べるだけで、記述例は隔日投与と完全に同じであるため、記 述例を載せることは略し、説明を追加した。
78	2021/10/15	内容	本文	6.9.8.1. 薬剤に対する調剤指示	3行目	「string型を使用してテキストとして指示の内容を記録できる拡 張」との記述があるが、CodeableConcept.textで記述してもよ いのではないか	CodeableConcept.textで記述した。
94	2021/10/22	内容	本文	7. (参考情報) 処方箋データの 運用に関する記述	2. 後発品 変更不可 時の電子 署名	後発品変更不可時の電子署名の記載は削除した方がよい。電子処 方箋の検討の中でも廃止の方向になっている。	削除した。
93	2021/10/22	内容	本文	全体	-	Extensionの命名規則を決めた方がよい。複数のプロファイルを 超えた共通利用はあまり考えなくてもよさそうなので、プロファ イルのコンテキストを付けてはどうか。	ルール化してそれに準拠させた。
79	2021/10/15	内容	例文	例1 Patientリソースの記述例	"text": " 東京太郎"	読みやすさのため姓名の間に全角スペースを入れたい	修正した。
80	2021/10/15	内容	例文	例1 Patientリソースの記述例	"text": " トウキョ ウタロウ"	読みやすさのため姓名の間に全角スペースを入れたい	修正した。

No	日付	指摘区分	場所区分 (表、図、 例、本文、そ のほか)	段落番号または図表例の番号) ページ番号は書かない。図表で 番号がない場合には表題	指摘場所や文な ど(場所がわか ればよい程度)	指摘内容、コメント、質問。修正の場合には修正前の何を何に修 正すべきかが明確にわかるように記載。体裁、フォント、サイズ の変更などもここに記入。	修正方針
85	2021/10/15	内容	表	表 18 識別子名前空間一覧	処方箋番 号 (処方 箋ID)	Code Systemと記述されているが、処方箋番号 (処方箋ID) は コードシステムではないので「System」とすべきではないか	IdSystemに修正した。
86	2021/10/15	内容	表	表 18 識別子名前空間一覧	保険医療 機関番号 (10桁)	Code Systemと記述されているが、保険医療機関番号はコード システムではないので「System」とすべきではないか	IdSystemに修正した。
81	2021/10/15	内容	例文	例3 Coverage リソース (保 険・自費情報) の記述例	"value": "30"	decimal型では？	両側のダブルクォーテーションを削除した。
82	2021/10/15	内容	例文	例4 Coverage リソース (公費 情報) の記述例	"value": "10"	decimal型では？	両側のダブルクォーテーションを削除した。
83	2021/10/15	内容	例文	例7 Organizationリソース (処 方診療科情報)	{ "system": "urn:oid:1 .2.392.10 0495.20.2 .51", "code": "01" }	identifierの方がよいのではないかと修正。	"identifier": [{ "system": " urn:oid:1.2.392.100495.20.2.51", "value": "01" }], と修正。
84	2021/10/15	内容	例文	例8 PractitionerRoleリソース (処方医役割情報)	"value": "123456"	Practitionerで記述した方がよいのではないかと修正。	Practitionerで記述した。